

今週のビルマのニュース 2011年1月14日 (1102号)

議会招集は31日 国軍が前線で受刑者を動員 徴兵制導入の動き

【政治】

- ・ 軍政は10日、2010年11月に行われた総選挙結果に基づき、人民代表院・民族代表院（連邦議会の二院）及び地方議会を1月31日午前8時55分に招集すると発表（11日国営紙）。2008年憲法の下では、人民代表院招集の15日以内に連邦議会が招集され、そこで選出された大統領が内閣を組織する。
- ・ 軍政が徴兵制を導入する法律を制定したことがわかった。18歳から35～45歳までの男女が対象で、拒否すれば禁固刑となる。現在ビルマ軍は志願兵制で約40万の兵力を有する。（9日AP、10日イラワディほか）
- ・ 政治囚支援協会（AAPP）によれば、2010年12月末現在の政治囚の数は2189人。12月には16人が満期で釈放され、僧侶1人が獄中で死亡した。1988年以来、収容中に死亡した政治囚は146人。

【少数民族】

- ・ タイ国境近くのカレン州で民主カイン仏教徒軍（DKBA）と戦っている国軍が、ビルマ中央部・東部の刑務所から数百人の受刑者を動員し荷物運搬等をさせているとの情報。地雷原を先に歩かせることも。脱走した兵士が政治囚支援協会（AAPP）に語った。（12日イラワディ、13日DVBほか）
- ・ 8日から11日にかけて国軍とDKBAとが交戦し、タイ側にも多数の砲弾が着地したため、タイがビルマに抗議した（11日イラワディ）。支援団体によれば10日現在、戦闘を逃れたカレン住民約8,600人が支援を受けているが、この他にもカレン州内に多数の避難民がいると見られる（11日バックパック医療チーム）。

【国際関係】

- ・ 米国が、昨年10月に襲来したサイクロン「ギリ」による被災者に、国連世界食糧計画（WFP）を通じ150万ドル分の食料援助を行うと発表。（11日国務省）

【政府開発援助（ODA）】

新たな発表はなし

【注目アイテム】

- ・ 月刊「すばる」2月号にビルマ情報ネットワーク秋元由紀のエッセイ『ビルマの「選挙」とメディアの危うさ』が掲載。

【イベント情報】（〔 〕内は主催者。共催等は省略）

- ・ [上智大学アジア文化研究所 <http://www.info.sophia.ac.jp>] 「旅するアジア」2010年度第6回講演会『「仏教国」ビルマ（ミャンマー）のイスラーム教徒：バマー・ムスリムの現実から』斎藤紋子（上智大学非常勤講師）（上智大学2号館5階510会議室、20日18時～）
- ・ [日本ビルマ救援センター <http://www.brcj.org>] 月例ビルマ問題学習会「ビルマ・タイ国境の町、メーソットでの難民支援活動（仮題）」講師：増田和生（大阪ボランティアセンター地下1階、21日18時半～）
- ・ [難民支援協会 <http://www.refugee.or.jp>] シンポジウム『新たな難民受け入れと新宿区～第三国定住開始にあたって私たちにできることを考える』（早稲田大学早稲田キャンパス8号館B102教室、22日14時～）
- ・ [ビルマ市民フォーラム <http://pfb-japan.org>] 第62回例会『タイとラオス、ビルマでのダム開発による被害と地元住民の声』東智美、秋元由紀（メコン・ウォッチ）（池袋・生活産業プラザ7階、29日18時～）
- ・ [アムネスティ・インターナショナル <http://www.amnesty.or.jp>] アムネスティ・フィルム・フェスティバル2011（東京・ヤクルトホール、29・30日）＊29日11時～「ビルマVJ消された革命」上映、16時35分～トークイベント『日本にも難民はいるんですか？』渡邊彰悟（弁護士・全国難民弁護団連絡会事務局長）、マリッ・センブー（ビルマ難民／カチン民族機構日本事務局長）

もっと詳しい情報・お問い合わせは
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>